

2019 年度
事業計画および収支予算

2019 年 4 月 1 日から

2020 年 3 月 31 日まで

一般財団法人
九 電 み ら い 財 団

2019 年度は、これまでの実施状況や評価等を踏まえ、「環境活動（環境保全活動と環境教育活動）」、「次世代育成支援活動」について、活動の着実な実施と充実を図る。

I 環境活動

1 坊ガツル湿原一帯における環境保全活動

- 坊ガツル湿原（大分県竹田市）一帯においては、ラムサール条約で求められている「保全」と「活用」の観点から活動を実施
- ・ 保全面では、坊ガツル湿原の保全およびその一帯に生息する希少植物の保護のため、環境省や自治体、地元団体等とともに、湿原の野焼きや外来種駆除、植生保護等の活動を着実に実施
- ・ 活用面では、坊ガツル湿原を訪れるバスツアーを継続実施

(1) 坊ガツル湿原野焼き活動

- 財団と地域の方々等で構成する「坊ガツル野焼き実行委員会（事務局：当財団法人）」を開催し、実施時期や活動参加者等を決定（7月、翌1月）
- リーダーの高齢化・固定化により野焼き活動が再び途絶えることがないように、「野焼きリーダー養成研修」や活動時のOJTを通じて後継者を育成

活 動	内 容	時 期	参加者
輪地切り	野焼きの際の延焼防止のための防火帯づくり	8月	各 130 名 程度
輪地焼き	防火帯部分に新芽が出ないように刈った草を集め焼き払う	9月	
本焼き	防火帯の内側に火を入れ、湿原一帯を焼く	翌3月	

(2) 坊ガツル湿原希少植物保護活動

内 容	時 期	参加者
湿原の希少植物保護のため、外来植物を除去	7月	80名程度

(3) 平治岳ミヤマキリシマ植生保護および登山道整備活動

内 容	時 期	参加者
<ul style="list-style-type: none">希少植物であるミヤマキリシマの植生を保護するため、かん木（ミヤマキリシマの育成に支障となる低木）等を除去するとともに、老朽化している登山道を整備平治岳北側斜面における調査伐採（2017年度実施）後の育成状況を検証したうえで、エリア拡大を検討・実施	4, 11 月	各 100 名程度

(4) 坊ガツルを訪れる機会の創出に向けたバスツアーの実施

内 容	時 期	参加者
登山経験の浅い方や坊ガツルに関心をお持ちのお客さまを対象に、プロカメラマンとネイチャーガイドが写真撮影と登山について指導するバスツアーを実施	5, 10 月	各 40 名程度

2 くじゅう九電の森（大分県由布市）での環境教育活動

- 次世代の環境保全意識の啓発のため、九州電力の社有林「くじゅう九電の森」において、子どもや保護者を対象に、「講話」と「体験」から成る環境教育を実施
 - ・ 学校向けは、1回あたりの受入人数枠を80名から90名に拡大することなどにより参加者を拡大
 - ・ 親子向けは、九州電力のTVCMや生活情報誌「みらいと」の効果により、現在の対象エリア（福岡、大分、佐賀）以外からの参加希望者が増えつつあることから、対象エリアを限定しない現地集合型での開催を試行（4月の試行実施結果を踏まえ、次回以降の実施方法を決定）

【実施内容】

- ① 講 話： 地球温暖化の現状や森林のCO₂抑制効果・生物多様性保全機能などを説明
- ② 体 験： 管理された森林（水源かん養林）や希少植物の観察、間伐の体験、間伐材を使った工作など

[学校向け]

実施時期	5月～11月（20回予定※）
対 象	福岡県、佐賀県および大分県内の小中学生（4年生以上）
参加者	1,400名程度（1回あたり40名～90名程度）
参加費	無料
募集方法	教育委員会や校長会などを通じ、各学校や団体に案内（2018年12月～）

※ 上記以外で、九電グループの旅行会社が企画する1泊2日の体験学習のメニューの一部として環境教育プログラムを有料で提供（1校、2回、120名、費用は学校負担）

[親子向け]

実施時期	4月～10月（最大8回予定）
対 象	九州全域の小学生（3年生以上）と保護者
参加者	最大640名（1回あたり80名）
参加費	1,000円／人（交通費は参加者負担）
募集方法	大型商業施設など親子が訪れやすい場所へのチラシ配布のほか、生活情報誌「みらいと」や財団のホームページ、Facebookなど様々な電子媒体を活用し告知・募集

Ⅱ 次世代育成支援活動

- 非営利団体が取り組む次世代育成の活動を対象に、公募型の助成を実施

1 2019 年度 of 取組み

(1) 助成金の支出

- 応募があった 121 団体のうち、選考委員会での審議を経て選考した 23 団体に助成（総額約 15 百万円）を行い、九州電力各支社にて贈呈式を実施（4 月～5 月）
- また、助成団体を広報面でも支援するため、活動の内容を財団 Facebook 等で紹介（通年）

(2) 2018 年度助成団体に対する奨励金の贈呈

- 助成団体の今後の活動の励みにしていただくこと等を目的に、奨励金を贈呈。贈呈する団体は、以下の手順で決定（3 団体、各 10 万円）
 - ・ WEB 投票や応援コメントを受け付ける「みらい応援キャンペーン」を実施（4～5 月）
 - ・ WEB 投票の結果をもとに、選考委員の意見を踏まえ決定（6 月上旬）

2 2020 年度 of 助成

- 理事会を開催し、募集内容を決定（10 月）
- 財団ホームページ等を通じて募集を実施（11 月～12 月）
- 選考委員会を開催し、助成団体を決定（翌 3 月）

Ⅲ 活動の情報発信

- 財団活動の認知度向上を目的として、ホームページや Facebook、Instagram のほか、九州電力の生活情報誌「みらいと」などを通じて活動の告知や活動状況等を発信するほか、2019 年度は以下の施策を実施
 - ・ Instagram を活用したフォトコンテストを 3 回実施。応募いただいた写真をイベントで展示するほかカレンダー等に活用（通年）
 - ・ 財団の環境活動を紹介するパネルを制作し、九州電力の各支社に配置することで、支社や事業所で実施するイベント等に活用

IV 賛助会制度の見直し

- 今後の財団事業の拡充に資するよう、九州電力のグループ会社を対象とした「賛助会制度」について、財団事業の趣旨に賛同いただける個人・団体からの寄附の受入れも可能とする内容に見直し
- 定款を一部変更後、運用開始予定（7月目途）

(賛助会制度の見直しの内容)

名称	主な対象	受入方法	1口あたりの金額
団体賛助会	・九電グループ会社 ・九州電力のお取引先	請求書による振込払	10万円/年
個人賛助会	・九電および九電グループ会社社員 ・一般市民	<u>寄附金・会費受領サービス</u> <u>(CANPAN)による受入れ</u>	千円/年

※下線部は今回の見直しによる追加

以上

〔参考〕2019年度活動スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
環境活動	環境保全	ミヤマキリシタ植生保護★	パ・スツア★		外来植物駆除★	坊ガツル輪地切り★	坊ガツル輪地焼き★	パ・スツア★	ミヤマキリシタ植生保護★				坊ガツル本焼き★	
	環境教育	親子向け①★	学校向け（全20回）						2020年度参加申込受付					
次世代育成支援活動	助成先贈呈式	←	みらい応援キャンペーン	←	奨励金贈呈式	←				2020年度助成先募集	←	2020年度助成先選考	←	助成先決定★
		助成先団体の活動取材												

2019 年度収支予算

- ・ 収益については、九州電力株式会社ほかから事業費用 5 1 百万円について寄附を受ける。
- ・ 費用については、環境活動約 2 2 百万円、次世代育成支援活動約 1 7 百万円、管理費約 1 2 百万円の計 5 1 百万円とする。

	当年度 (A)	前年度 (B)	差 (A)-(B)	主な差異理由
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取寄付金	51,000,000	50,000,000	1,000,000	
受取寄付金	6,000,000	50,000,000	-44,000,000	寄附金の一部は指定正味財産として受入れ
受取寄付金振替額 ②	45,000,000	0	45,000,000	指定正味財産の一部を受取寄付金に振替
経常収益計	51,000,000	50,000,000	1,000,000	賛助会費の見込み額の増
(2) 経常費用				
事業費	39,180,000	39,000,000	180,000	
報酬	0	0	0	
給料手当	0	0	0	
法定福利費	0	0	0	
旅費交通費	1,708,000	1,710,000	-2,000	
通信運搬費 ⑥	5,462,000	6,735,000	-1,273,000	(環境教育)現地集合によるバス費用(2回分)の減
消耗品費	1,181,000	1,165,000	16,000	
印刷製本費	700,000	685,000	15,000	
賃借料	0	0	0	
会議費	60,000	0	60,000	
諸謝金	543,000	435,000	108,000	(環境教育)森林観察講師依頼回数の増
租税公課	10,000	10,000	0	
支払助成金 ③	15,300,000	14,300,000	1,000,000	(次世代)助成金の増額
支払保険料	500,000	0	500,000	(環境保全・教育)雑費に計上していた保険料を計上
委託費 ④	11,370,000	10,240,000	1,130,000	(環境保全)ミヤマキリシマ植生保護活動範囲の拡大
普及宣伝費 ⑦	1,045,000	1,400,000	-355,000	(環境保全)バスツアー告知方法見直しに伴う減
支払手数料	128,000	128,000	0	
制作費	160,000	187,000	-27,000	
リース料	0	0	0	
雑費	1,013,000	2,005,000	-992,000	(環境保全・教育)保険料を「支払保険料」に計上
管理費	11,820,000	11,000,000	820,000	
報酬	322,000	320,000	2,000	
給料手当	2,660,000	2,300,000	360,000	出向者給与の増
法定福利費	200,000	136,000	64,000	
旅費交通費	374,000	660,000	-286,000	通勤費の九電負担による減
通信運搬費	288,000	288,000	0	
消耗品費	300,000	333,000	-33,000	
印刷製本費	560,000	480,000	80,000	
賃借料	324,000	324,000	0	
会議費	15,000	15,000	0	
諸謝金	0	0	0	
租税公課	71,000	71,000	0	
支払助成金	0	0	0	
普及保険料	0	0	0	
委託費	3,930,000	3,864,000	66,000	
普及宣伝費 ⑤	1,759,200	1,425,000	334,200	instagramコンテンツ実施回数の増等
支払手数料	48,000	48,000	0	
制作費	100,000	100,000	0	
リース料	679,200	636,000	43,200	
雑費	189,600	0	189,600	PCソフト利用料等の増
経常費用計	51,000,000	50,000,000	1,000,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	3,170,528	3,170,528	0	
一般正味財産期末残高	3,170,528	3,170,528	0	
II. 指定正味財産増減の部	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
一般正味財産への振替額	45,000,000	0	45,000,000	
当期指定正味財産増減額	-45,000,000	0	-45,000,000	
指定正味財産期首残高 ①	95,000,000	50,000,000	45,000,000	
指定正味財産期末残高	50,000,000	50,000,000	0	
III. 正味財産期末残高	53,170,528	53,170,528	0	

以上